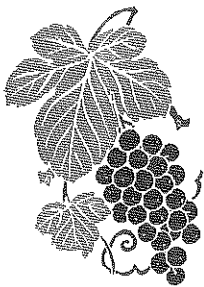
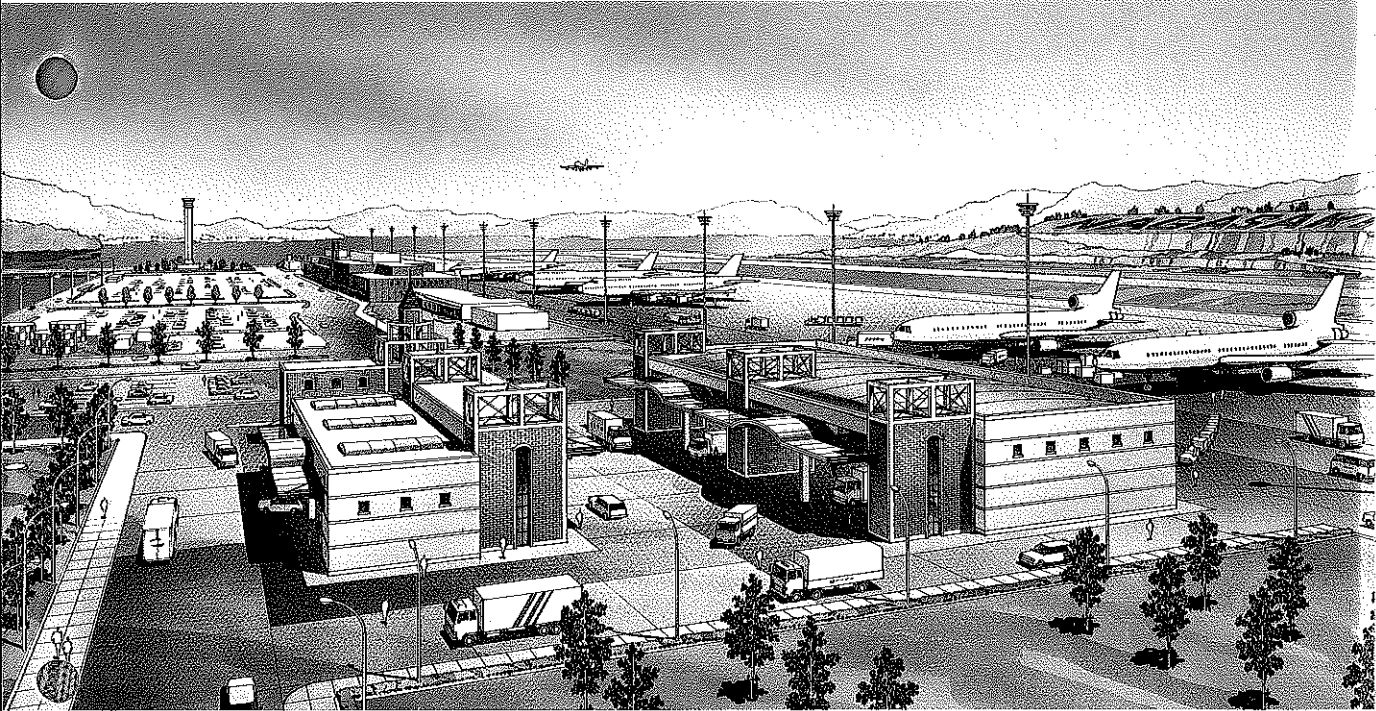




社団法人 長崎青年協会

●本年度スローガン 明日への想像力と独創性 らして共生

長崎空港国際物流センター計画



発行/長崎市魚の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 船越 正治
編集/広報委員会
広報委員長 城谷富好

社団法人
長崎青年協会憲章

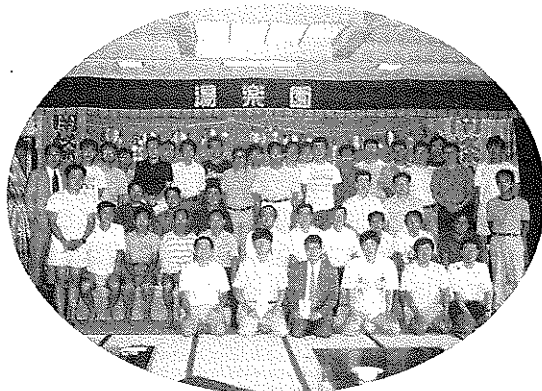
我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

9

●創立/昭和44年3月1日 ●社団法人設立/昭和59年3月23日

全体研修

8月30日～31日 於 新漁港(湯楽園)



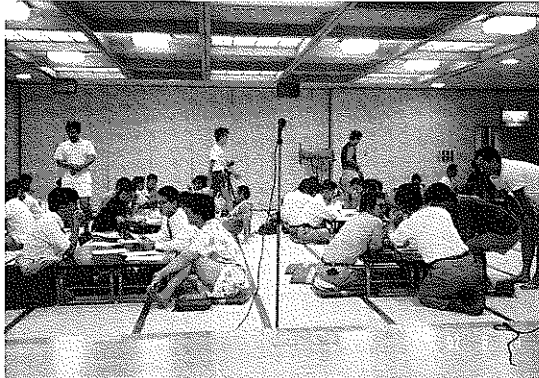
た「9月の100%例会を達成するために」というテーマについて、代表各1人が全会員の見守る中で売り込み(ほとんど発表会の様相)を行い、広報委員会が優勝しました。また個人賞も広報委員会の永田君が獲得しました。下馬評ではセールストークバツグンの井上君・松島君の2名を擁する例会委員が優勝候補と見られていましたが、この2人が夕食時にビールを飲みすぎて赤い顔をしていた事が、敗因と思われます。また、総務委員会は松尾秀二君が本業を生かしてすばらしい企画資料を作成して今後の協会活動にそのまま利用できるほどのできばえでした。



「……という事で買ってもらえませんか」
「うーん、考えときましょ」

真剣なセールスの様子

「トップセールスマンを目指せ」と銘打ってだされた課題は、青年協会2001構想を練り上げその企画を売り込もうというもの。委員会対抗の形であられたため全委員会、事前準備からかなりの熱の入れよう、担当地域委員会(田川俊幸委員長)にうまく乗せられました。しかし、いざお客様役のOBに企画を持ち込んで売り込みを始めてみると畳の上でのセールスは勝手が違ううえに、横から役員たちが観察している為、日頃の実力を十分に発揮できなかった会員も多かったようです。そんな中、総務、広報、地域社会・事務局、国際交流の4委員会が決勝に残り、その場で与えられ



優勝めざし熱心な販売会議の様子

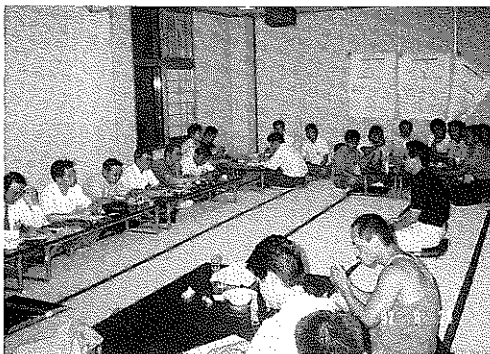
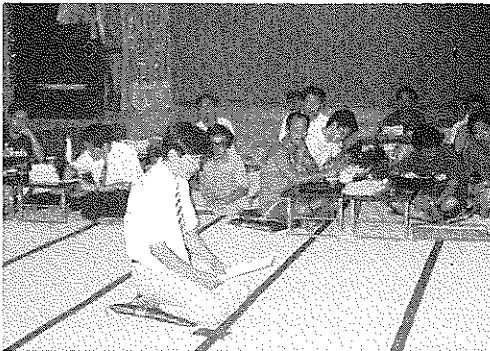
当日の審査項目は、次のようになっていたそうです。①自己紹介はできたか ②表情は明るいのか ③言葉遣いは正しいか ④時間にロスはなにか ⑤商品知識はあるか ⑥実現可能な企画か ⑦情熱が伝わるか ⑧NYAらしい企画か

今回の研修は、仕事の中での話し方を考え直す良い機会となり、またテーマのNYA2001構想について会員相互の意見交換の場としても重要な役割を果たしたと思います。企画運営にあたった地域事業委員会の皆さん、お疲れ様でした。

今回の全体研修は、トップセールスマンたる態度並びに会話術などを勉強して頂きながら、現在及び未来の青年協会像を各委員会で自由に考えてもらいここに協会活動の意義を深めてもらえばと思ひ企画しました。当日は、6名のOBの三浦勝太様、小川一郎様、埜中孝様、松尾豊明様、江村大洋様、野上林八郎様の方々に審査委員として出席頂き引き締まった研修になりました。

多忙中、出席頂きましたOBの方々を始め、事前に真剣に委員会で企画を練り、当日に臨んで来られた会員各位に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。 地域事業委員会 田川俊幸

長崎青年協会夢の2001年構想



事業委員会

プロサッカーチームを長崎に作る

国際交流委員会

留学生に対する事業部制の導入

会員開発委員会 会員交流委員会

青年協会のネットワーク構想。中国青年協会

地域社会委員会 事務局

- 1 事務局移転構想
- 2 会員1万人構想
- 3 蘇れ！長崎歴史人物百選構想

総務委員会

長崎青年協会会館所有計画。会員教育委員会の設置

特別事業委員会

2001年くんちフェスティバル「21世紀世界の中の長崎」
市内全域をおくんち会場とする

例会委員会

滅びゆく高島を救おう！
「ムー大陸カジノ」設立

広報委員会

「新出島構想」
活動の目標に「国際化」を打ち出す。

企画委員会

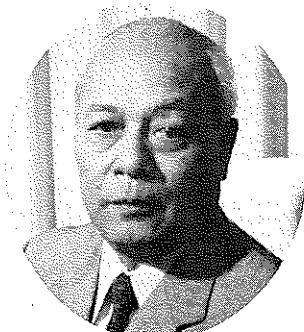
ネットワーク市民の会とビックイベントを行う。

9月例会講師紹介

講師 元田克己先生

(心理療法クリニック)

元田教育心理相談研究所



プロフィール

資格 臨床心理士 (日本臨床心理士資格認定協会による)

催眠技能士 (日本催眠医学心理学会による)

昭和23年熊本師範学校卒業後、18年間、小・中学校教諭として奉職。その後、久留米市にある聖ルチア病院 (精神科) でカウンセラー兼教育相談室長として12年間勤務。

昭和53年4月から、現在の心理療法専門のクリニックを開業して今日に至る。

日本催眠医学心理学会・日本自律訓練学会・日本心理臨床学会・日本心身医学会・日本精神分析学会・日本ホリスティック医学協会・日本臨床心理士会などの会員。

主な著書

誠信書房「自己啓発学習」

自費出版「サラリーマン人間学入門」・「自己啓発訓練法」

ほかに学会発表論文多数。

主な共著

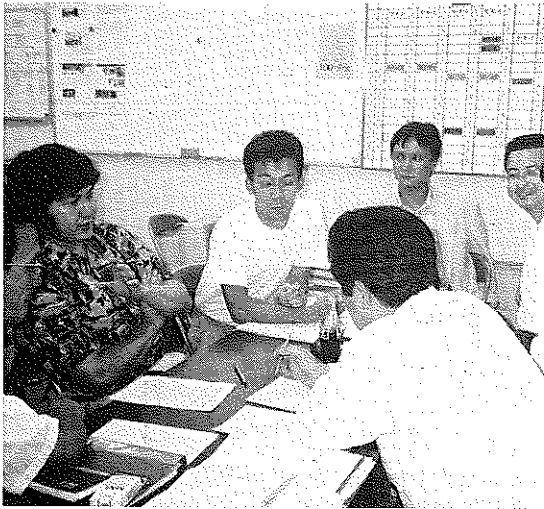
誠信書房「教育催眠学」、「催眠シンポジウムⅠ

心理学的リハビリテーション」、「催眠シンポジウムⅡ 教育催眠学」

福村出版「催眠療法」 文光堂「催眠療法」

梨明書房「催眠学講座」 明治図書「小学生の問 題行動」

日本文化科学社「自律訓練法」など



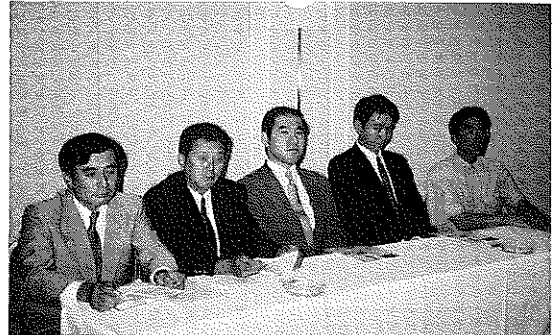
★委員会訪問★

今回は、松田広志君の企画委員会を紹介します。企画委員会は本年度より新設され「ネットワーク市民の会」代表幹事である青年協会と他団体との橋渡しの役割を担っています。議題は10月17日～18日松ヶ枝で行われる「ベイフェスタ・イン長崎'92」、11月13日「ネットワークトップフォーラム」11月28日～29日「青年団体フォーラムin時津」について、青年協会がどういう役割を果たすかという事を中心に話し合いが進められました。メンバーの出席率・団結力も素晴らしく「これからの青年協会を背負う」ことが期待される爽やかな委員会活動でした。

「ネットワーク市民の会」

社団法人長崎青年会議所例会訪問

去る7月13日、「ネットワーク市民の会」代表幹事として船越会長、桑田企画担当副会長、松田企画委員長が社団法人長崎青年会議所の例会に招かれました。他団体との交流という意味で非常に画期的なことで青年協会の9月例会には青年会議所の代表の方をお迎えする予定です。



長崎青年協会 会員各位

例会委員会

さて、先日理事会におきまして、「9月21日（月曜日）の例会を100%例会とする。」と承認されました。

さっそく、例会委員会では、その準備にとりかかりました。

例会出席率、その他の事業、委員会におきましても、出席率低下が近年より、問題とされております。例会に至っては、講師講演の時間（PM7:00～）になっても出席者が40数名という日もありました。講師の方に対しても失礼である事は言うまでもなく、長崎青年協会会員としての自覚に訴えます！

会員全員が顔を合わせる月に一度の例会です。

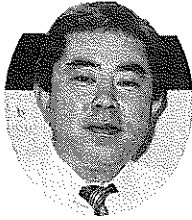
おくんちの事業を前に、全員出席をして、自覚を新たにして気持ちを一つにする事をやってみようではありませんか!!

9月21日（月曜日）は、

100%例会です。

青年協会ルーツ探訪⑤

テーマ
「みんなで盛り上げよう
長崎くんち」



今回は青年協会一大イベントである「おくんち広場」のルーツを探ってみました。

第13年度（昭和56年）井川憲太郎会長（当時・現OB）の時、青年協会の基本方針である老人問題、

文化財清掃、青少年育成、以外で長崎市民密着の大きい事業をやりたいという話から「みんなで盛り上げよう長崎くんち」をスローガンに始まりました。現在には無い昔懐かしい見世物小屋、サーカス等を子供達に味わせようと市の協力を得て市民会館にインド魔術団を招く事ができ、公演4回6,000人の来場があり大成功に終わったとの事です。また当日台風で来場者の心配、前売チケットの販売、初めてのイベントの設営、飲み物販売、会場警備、案内と会員全員が心身共に疲れながらも会の結束を深め、協会の特徴を大いに発揮されたとの事です。また、おくんち打ち上げの裸の付き合い（サウナ）もこの時から始まったそうです。

井川OBより「会員全員の協力、団結により成功した事に感謝しています。皆で汗水流した事で真の付き合い、友人が出来た」との事です。



さて現在のおくんち広場として屋外に出店を試んだのは第16年度（昭和59年）太田勝良会長（当時・現OB）の時です。

屋外1回目は瓊の浦公園で「くんち共和国」として始められ踊り町にも参加を求め「龍踊り、川船、オランダ万才」、ゲストの松本伊代、竹本孝之のコンサートを実施、盛大に開催されました。出店など現在同様全部手造りで機材などは寝ずの番で管理し、騒音など近所の苦情の対応など大変苦勞なさったようです。江戸町公園に移ったのは次年度からで、瓊の浦公園は広すぎる事、大波止には遠すぎるとの事で現在に落ち着いたそうです。



太田OBより「準備、設営、チケット前売りなど全員協力のもと成功したといえるでしょう。今後はもっと地域の住民と一体となってやってほしい」との事です。

現在のおくんち広場、お化け屋敷などはインド魔術団、くんち共和国などが基盤となり今も続けられています。今後も全員参加、一致団結により「おくんち広場」を盛り上げていきたいものですね!!

取材協力 OB井川憲太郎さん
OB太田勝良さん
ありがとうございました。

'92大好き長崎なるほどセミナー

飛帆による体験航海開催

去る8月22日、23日、長崎市内の小学4、5、6年生を対象に、長崎の港、文化、歴史、地理等を実際に目で見て触れて、体験学習することで、将来の長崎を担う子供達に長崎をもっと好きになってもらい、さらに将来の夢を描いてもらいたいという趣旨で飛帆による体験航海が実施されました。

＜飛帆による長崎港体験航海＞8月22日午前中

平山事業委員長による開会宣言に続き、船越実行委員長、長崎海運支局長佐藤守信様よりごあいさつを頂いた後、長崎海運支局検査長久松孝先生

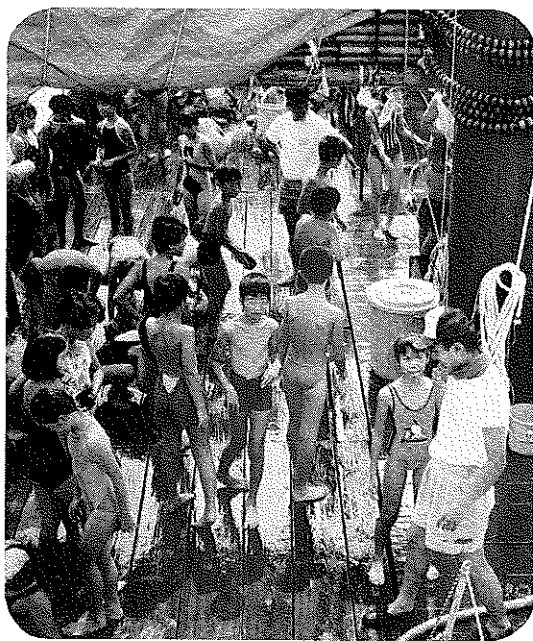


による「船について」という講話を、炎天下にもかかわらず、熱心に子供達は耳を傾けていました。その後、折原重光先生によるロープワークの指導、長崎海洋少年団西川勝彦先生による手旗信号の勉強をしたのち、飛帆に乗り込み、爆竹の音とともにポートパーク長崎を出港しました。船上では、長崎の名所・旧跡の説明、又、手旗信号の傍受などを行い、約1時間の航海を終えました。

＜飛帆による伊王島体験宿泊＞8月22日午後～8月23日午前中

午前中の開会セレモニー、ロープワーク、手旗信号の事前学習の実施後、伊王島へ向けて出港しました。途中、水びたしになりながらのデッキ清掃、手旗信号の傍受を行ない、約1時間で伊王島到着、島に着いた子供達は、早速小島海水浴場へ直行、伊王島の子供達と合流し、ヨットによるクルージング体験、水泳教室、ドッジボールなどのスポーツをしてすばらしい汗をかきました。

そのあと、宿舎である馬込生活館前で、待ちに待ったバーベキュー、その頃には、他の学校から来た人ともなかよくなったようで、いたるところから笑い声が聞こえてきました。夕食も終わり、





8時から古賀智鶴子先生による「長崎にまつわる昔話」、長崎歴史帆船協会の穂山辰夫様の「長崎にまつわるおもしろばなし」伊王島の子供達といっしょに楽しいひとときを過ごし、グループ会議で自己紹介などをして交流を深めました。9時30分就寝。

翌朝6時30分起床。ラジオ体操、朝食、全員での後片付け後、徒歩にて伊王島灯台公園へ出発。1時間後汗だくになって到着、その時天からのシャワーをあび気分爽快になって記念撮影、この時子供達はまだまだ元気です。バスにて伊王島港まで行きよいよ伊王島のに子供たちともお別れの時がやってきました。最後に小学生を代表して、

土井の首小学校6年久毛純子さんより、お礼の挨拶、それから長崎の子供達は飛帆に乗り込み出発。船の方も岸壁の方も声が聞こえなくなるまで「さよなら、またあいましょう」と楽しかった2日間を思い浮かべながら手を大きく振って別れを惜しみました。約1時間でポートパーク長崎へ到着。保護者の方の出迎えもあり、また11月の「文化財清掃」で会いましょうと大平副会長の挨拶で締めくくりました。ご協力を頂きました皆様、大変お疲れ様でした。



NY君

8/22・23 伊王島フェイファン体験学習を

終えて、島の子供たちと、船の別れ。

「ちっぽけな感傷?!」 by 〇ん

▶ このマンガは、限りなく事実に近いフィクションです。



僕の自慢の家族

企画委員会

岡田康信君 御家族

(問)—— 下記より連想される会員を1名、手帳より抽出しなさい。

- ※ 金ムクの極太喜平のネックレス。
- ※ 金銀コンビのロレックスオイスター。
- ※ 長ドスも通さない超合金Zの肉体。

という訳で今回は、気はやさしくて力持ち、企画委員会の岡田康信君の御家庭を訪問しました。

長男 信彦 (7歳)

学校も好きですが、今はサッカーが一番面白いです。

次男 康史 (6歳)

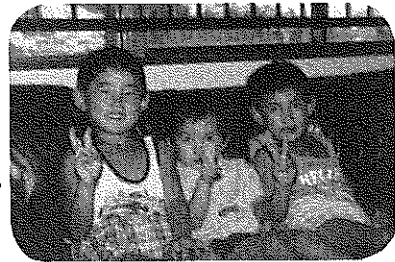
勉強はキライですが、お兄ちゃんとサッカーをしています。

三男 翔平 (3歳)

花火が好きです (本人談)

妻 法子

主人は日曜日は必ず子供達と遊んでくれるし、特に不満な点はありません。でも平日はもう少し早く帰って来てくれると嬉しいですね。来年には4人兄弟(妹?)になりますのでまた頑張ってください。



三兄弟
ブイブイブイの岡田

チヨンガー列伝 秋の特別企画《副会長かく語りき》の巻

今回はチヨンガーの輝ける星、また青年協会のニッポニア・ニッポンと言われます、総務担当副会長大平和男君の登場です。

— ご趣味、特技などはありますか？

⊗ 柔道で3段を持っています。

— それでは好みのタイプの女性はどういう方ですか？

⊗ 美人でかわいい人、謂ゆる「いい女」が好きです。体型としてはスマートな人がいいですね。それと私の以前からの持論ですが、性善説つまり、「人間生まれた時からの悪人はいない」と思っています。ですから性格は どうでもいいかなと思います。

— 先月号のI君からも聞きましたが、例の卒業までの結束はどうですか？

⊗ ハイ、それはもう数年前より計画を建てていまして、一応来年の3月14日に日取りを決めています。

— それは知りませんでした。日取りからするとぎりぎりですね。

⊗ ええ、21日の「卒業を送る夕べ」の1週間前ということで新婚旅行から帰って、ちょうどいい日 だと思いいこの日に決めました。

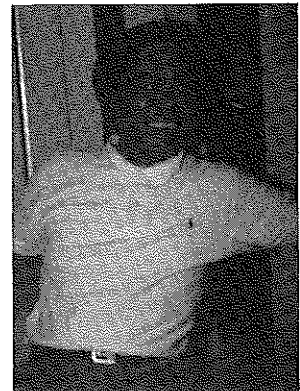
— 相手はどんな方ですか。

⊗ ハイ、まだ決まっていません。ですが広報委員会のS君の例もあります様に、どうにか来年1月までに探せば、間に合うかと思えます。この場を借りて言わせて頂けますか？

だれかいい人がいましたらご紹介下さい。挙式の費用等、手出し無しで対応させていただきます。

— 絶句！

※ 大平君には続編として年度末にまた出て頂きたいと思えます。 つづく



★長崎空港国際物流センター計画 (表紙説明)★

今回は長崎県が推進している「長崎空港国際物流センター計画」を紹介します。

本計画は、長崎空港を東南アジアに向けてのゲートウェイ空港、また九州の拠点空港として位置付け、国際貨物の物流基地として活用することを目的としています。本年、9月14日に新会社「長崎国際航空貨物ターミナル株式会社」を県と民間によって設立、来年度は空港内に貨物ターミナルビルの建設を行い、平成6年7月より本格的な営業を開始する予定で、年間5万トンの貨物取扱量を目指しています。将来的には流通加工センター、国際展示場等の施設が整備されることになっています。